

数学

関西学院大学 全学日程 [文系] (2/1実施)

<全体分析>

試験時間	60 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式

[1] [2] 空所補充式 [3] 論述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・**やや増加**・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

出題の特徴

数学 I・A・II・Bのすべてから出題されている

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

[3] の3次関数の積分は5年連続のテーマ

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]				
(1)	二次関数	数学 I	絶対値を含む二次関数のグラフの共有点	標準
(2)	確率	数学 A	数字の書かれた赤白のカードを取り出すときの確率、条件付き確率	標準
[2]				
(1)	図形と方程式	数学 II	領域と最大最小	標準
(2)	空間ベクトル	数学 B	法線ベクトル、ベクトルの大きさの最小値	やや易
[3]	微分法・積分法	数学 II	3次関数のグラフと x 軸が囲む面積を工夫して求める	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年、数学 I・A・II・Bのすべてからバランスよく出題されており、難易度も教科書の章末問題程度までである。二次関数・確率・微積分を中心に、基本を大切にしながら偏りなく学習しよう。誘導形式の問題が多いので、出題者の意図を読み取る訓練も大切である。